

# 岡山歯学会雑誌投稿規定

## 総 則

- 1) 投稿は本会会員に限る。
- 2) 論文は他誌に掲載されたことのない総説，原著，症例報告および学位論文とする。
- 3) 原稿は冗長を避け，簡にして要をつくしたものであること。
- 4) 投稿論文の受付締切日は，原則として，1号は2月末日，2号は8月末日とする。
- 5) 原稿の採否は査読者の意見を参考に，掲載順序とともに編集委員会で決定する。
- 6) 和文原稿は A4 版用紙に平仮名，楷書，横書きとし，学術用語等特殊なものを除き，当用漢字を準用する。
- 7) 原稿は，プリントアウトした 1 部を作成し提出する。また，原稿のファイルを記録した CD-R を一部これに添付する(ウィンドウズ又はマックのいずれでも可, Microsoft WORD, Microsoft Excel, Microsoft PowerPoint 形式のファイルを提出のこと)。図および写真は，原稿ファイルとは別に，それぞれ JPEG 形式ファイル（ファイルサイズはそれぞれ 10MB 以下）で添付すること。
- 8) 提出原稿は表紙，本文，文献，脚注，図表の説明，表・図または写真の順に一括して左上隅をとじること。
- 9) 校正は，プリントアウトした文書に朱書きして所定の日時まで返却すること。
- 10) 投稿料は別に定める。
- 11) 別刷は 50 部単位で受け付け，端数の注文は受け付けない。
- 12) 発行後誤りを発見した場合にはただちに編集委員長に報告し，次号に正誤表を添付してこれを訂正する。
- 13) この規定によるもの以外の掲載についてはその都度，編集委員会に諮るものとする。
- 14) 原稿の送付や編集に関する問い合わせ等は下記あてとする。

岡山市鹿田町 2 丁目 5 番 1 号 (〒700-8525)

岡山大学歯学部

岡山歯学会雑誌編集委員長

電話(086)234-8150

## 岡山歯学会雑誌の引用文献の記載法

1. 引用文献は、本文中に右肩番号をつけて引用し、本文末尾に引用順に記載する。初出の引用文献が複数の場合は、文献の発行年代順に記載すること。
2. 雑誌略名は、本邦のものは医学中央雑誌刊行会編 医学中央雑誌略名表（最新版）、外国のものは List of Journals Indexed in Index Medicus に準じること。号数の記述は除き、巻の中の通しページを表示すること。
3. 引用文献は原則として下記の要領に従って記載すること。

### a) 雑誌の引用について

#### 【例】

- 1) 前田あずさ, 縄稚久美子, 菊谷 武, 兒玉直紀, 萬田陽介, 窪木拓男. コロナ禍における老人介護施設での口腔栄養関連サービスに関する PBL 演習. 岡山歯誌. 2022; 41(2): 21-33.
- 2) Ono S, Nakayama M, Tachibana M, Shahriar ASM, Heling W, Takashiba S, Ohara N. Construction and characterization of a PGN\_0297 mutant of *Porphyromonas gingivalis*: evidence of the contribution of PGN\_0297 to gingipain activity. Acta Med Okayama. 2019; 73(4): 315-323.

### b) 単著書籍の場合 :

#### 【例】

- 3) 皆木省吾. 寝たきり・要介護老人のための義歯. 写真と図で使える超高齢者総義歯座右マニュアル, 初版. 東京, 学術研究出版, 2022, 86-88.

### c) 分担執筆書籍の場合 :

#### 【例】

- 4) 宮脇卓也. 静脈内鎮静法で使用される薬物. 福島和昭監修, 一戸達也, 北畑 洋, 嶋田昌彦, 丹羽 均, 宮脇卓也編, 歯科麻酔学, 第8版. 東京, 医歯薬出版, 2019, 172-185.

### d) ウェブコンテンツの場合 :

#### 【例】

- 5) 厚生労働省. 平成 28 年歯科疾患実態調査. <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/62-28.html> (最終アクセス 2023 年 5 月 24 日)

- 6) World Health Organization. The top 10 causes of death.

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/the-top-10-causes-of-death> (Accessed May 24, 2023)

e) 学位論文の場合 :

【例】

- 7) 三宅沙紀. 局所投与されたイブブラジンは過分極活性化環状ヌクレオチド依存性 (HCN) チャンネルを介してカラゲニンによって誘発された神経障害性疼痛および炎症反応を抑制する. 岡山歯誌, 2019; 38. (博士論文) .